

様式第4号（第7条関係）

パブリックコメント募集案件概要書

【案件名：第2期つくば市こども未来プラン（案）】

つくば市こども部こども未来センター

○ 計画等を必要とする背景・提案に至るまでの経緯

つくば市では、平成31年2月に「つくば市こども未来プラン」を策定し、学習支援・居場所づくりを中心として、子どもの貧困対策に取り組んできましたが、困難を抱える子どもや家庭の問題は複雑化しており、継続して支援を行っていく必要があります。

「第2期つくば市こども未来プラン」では、将来貧困に陥る可能性がある子どもも支援対象とし、子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望を持ち健やかに育ち続けるための支援体制を進めていきます。

○ 他の自治体の類似する計画等の事例

子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく子どもの貧困対策計画は、各自治体で策定しています。子ども・子育て支援法第61条第1項に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画や次世代育成支援対策推進法第8条第1項に基づく市町村行動計画に内包する自治体や、つくば市のように単独で策定する自治体があります。

○ 未来構想における根拠又は位置付け

未来構想に基づく戦略プランの取り組みは以下のとおりです。

Ⅱ-2-① 一人ひとりのこころと体の健康づくりの支援

Ⅱ-2-② 誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備

Ⅲ-2-② 魅力ある放課後の創出

○ 関係法令、条例等

こども基本法、こども大綱、子どもの貧困対策の推進に関する法律、子供の貧困対策に関する大綱、次世代育成支援対策推進法、茨城県次世代育成プラン

○ 計画等の実施により予測される影響及び効果（算出できるものはコストを含む。）

つくば市においても複合的な困難を抱える世帯がいることを広く市民に周知し、市民にボランティアや基金等の理解を働きかけることができます。また、安心できる居場所や学習環境等を整えることで、貧困の連鎖を防ぐことや将来の貧困を予防する一助となることが期待できます。

第2期

つくば市こども未来プラン

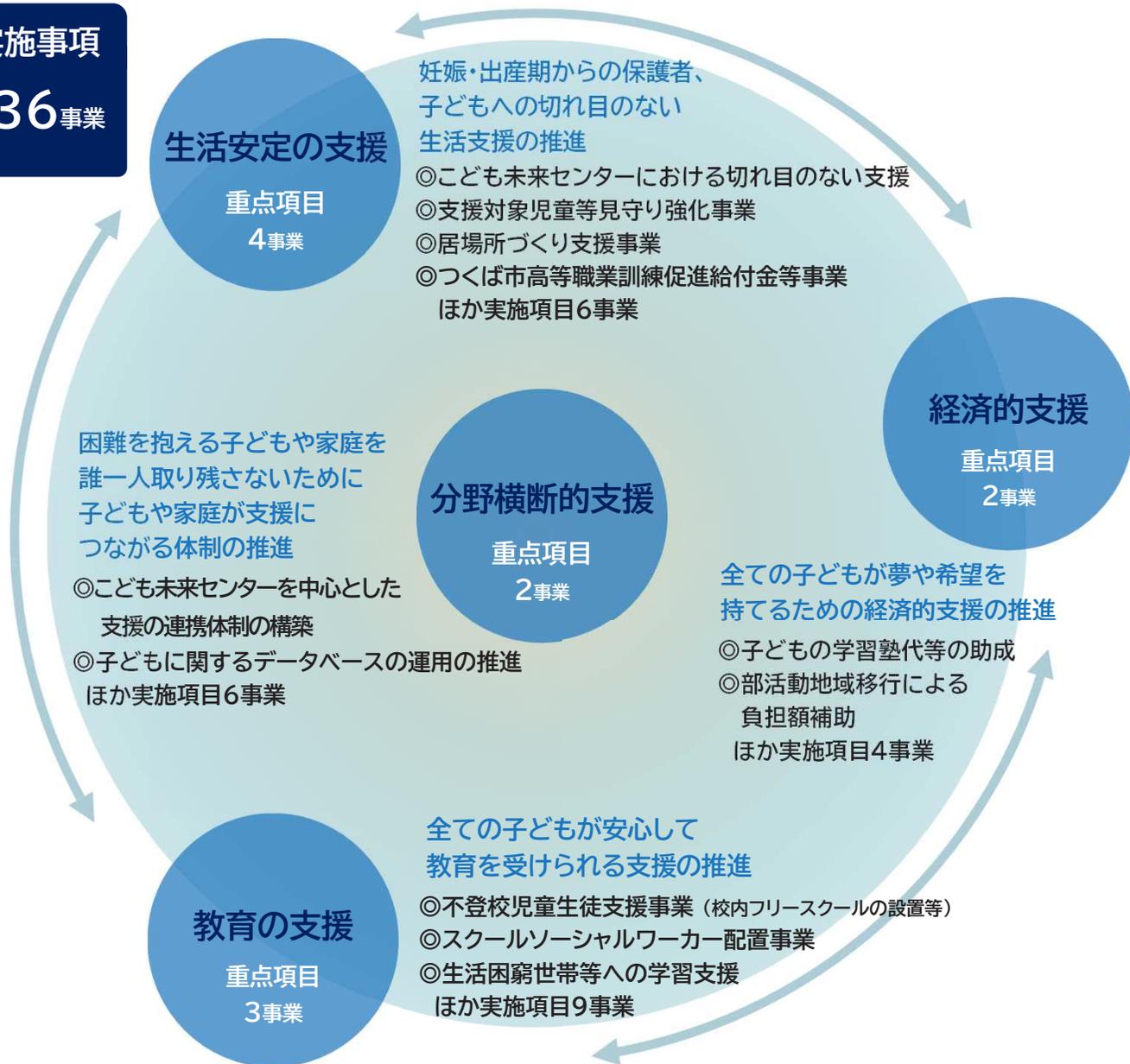
実施期間

2024~2028年度

【ビジョン】支援の輪で子どもを未来へつなぐまち

実施事項

全36事業



支援の方向性

- ◎現在、困難を抱えている子どもを早期に発見し支援を届ける
- ◎将来の貧困を予防する

達成目標

- 自己肯定感を持つ児童生徒の割合
現状値 69.1% → 目標値 74.8%
- 「自分の将来について明るい希望がある」と思う児童生徒の割合
現状値 81.7% → 目標値 83.9%
- 基本的な生活習慣が身についている児童生徒の割合
現状値 81.2% → 目標値 92.0%
- 学習習慣が身についている児童生徒の割合
現状値 54.2% → 目標値 62.6%
- 生活保護世帯に属する子どもの進路決定の割合
現状値 100% → 目標値 100%

